

ねらい

通常学級及び特別支援学級における個別の支援を要する児童生徒の学習効果を高めるとともに、集団への不適応状態にある児童生徒の学校生活へのよりよい適応を図るために、教育支援員を学校の実態に応じて派遣する。

教育支援員の業務内容

- 学級担任等の指導の補助
- 個別の学習指導の補助・生活支援

教育支援員配置人数の推移

平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
2 名	4 名	5 名	6 名	10 名	28 名	38 名	45 名	45 名	45 名	45 名	40 名	40 名	60 名予定

平成 27 年度の成果

- 授業と授業の合間や昼休みなどの時間に生徒に付き添うことで、安全・安心な生活をおくることができている。
- そばに寄り添って支援したり良さをすぐに褒めたりすることで、児童の気持ちが安定し落ち着いて学習に取り組める時間が増えた。
- 個々に寄り添って詳しく説明することで、落ち着いて意欲的に学習に取り組めるようになった。自分でできる課題に根気強く取り組むようになり、単語のまとまりに気をつけて英文を書けるようになるなど意欲面に加え、学力面での成長も見られた。
- 対象児童の集中力が途切れた場合に、個別の声かけをすることで、一斉での活動に取り組めるようになった。また、個々の思いを受容し活動に対する見通しを持たせたりすることで、集中して取り組めるようになった。
- 気持ちが沈んだ時やイライラしている対象児童に対し、個別に寄り添い支援することで、自分自身の力でコントロールしながら学習に取り組むことができるようになってきた。
- 人間関係でつまずいた生徒に対し、休み時間や昼休みなど目を配りながら声かけをすることで、集団の中での生活に落ち着きがみられるようになってきた。
- 学級担任の補助をすることで、交流学習がスムーズに実施できている。挨拶や給食の準備など生活面での支援が充実し、児童の成長に結びついている。

教育支援員の効果的な活用について

- 担任等と教育支援員との情報共有や支援方法の改善など、各校の工夫ある取組を支援する。
- 本事業の効果検証を行い、教育支援員の効果的な活用を進める。

研修について

- 教育支援員研修会の実施（2回）
 - 特別支援教育に関わる研修
 - 教育相談、生徒指導に関する研修
 - 教育支援員の活用に関わる研修
- ※教育支援員と学級担任等との合同研修